

平成24年度当初予算案の概要

一般会計227億5,000万円、対前年度比4.1%増
耐震、除染、市民の安心・安全を最優先に予算を編成

昨今の地方自治体においては、少子超高齢化、核家族化の進展とともに医療や介護、さまざまな福祉施策に係る扶助費の増加が財政運営を圧迫しており、牛久市においても平成22年度決算で扶助費が一般財源ベースで約30%の伸びを示しています。限られた財源の中で市民目線での行政サービスを推進するために、平成24年度の予算編成に当たっては、予算策定の原点に立ち返り、各小学校区単位での懇談会を通して得た地域の課題、市民の声を可能な限り予算に反映させながら、一般会計227億5,000万円、全会計合わせて375億7,700万円の平成24年度予算を編成しました。

歳入では市税が税制改正に伴う扶養控除の見直しにより、前年度比3.4%、約3億8,000万円の増加、また地方交付税は9.2%、約1億2,500万円の増加、国庫支出金が生活保護費負担金、あるいは牛久第二小学校、中根小学校体育館の耐震補強、大規模改修により、2.7%、約8,000万円の増加、県支出金が民間保育園整備の補助により、13.2%、約1億4,500万円の増加、繰入金は財政調整基金からの繰り入れの大幅な減少により41.1%、約3億7,300万円の減少、市債はひたち野うしく小学校の校舎増築などに伴い36.2%、約5億円の増加となっています。

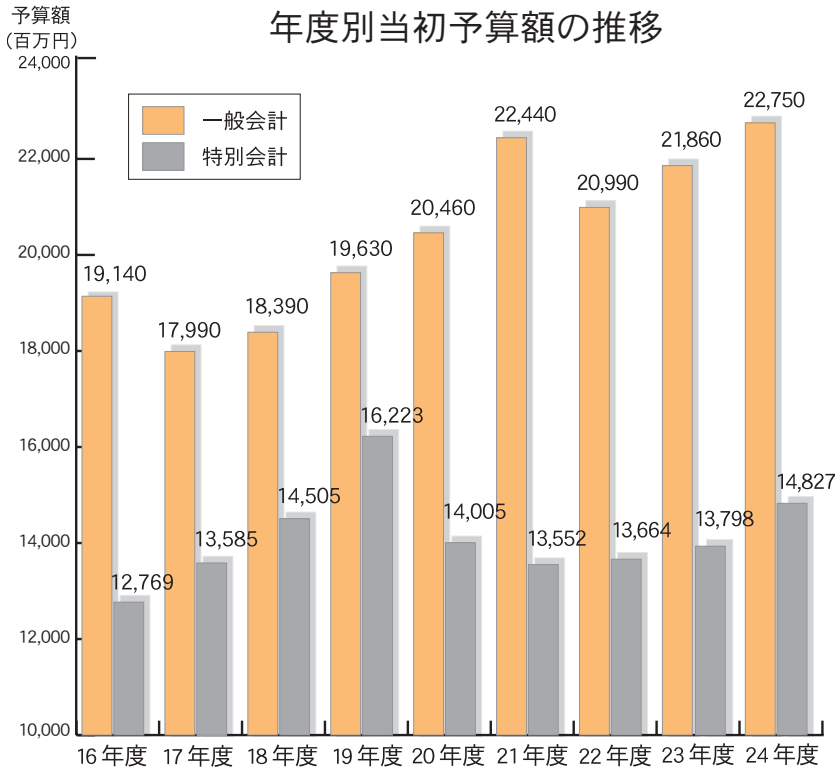
また歳出では、議会費が議員共済負担金約5,900万円の計上に伴い、21%、約4,000万円の増加、総務費は基幹システムの更新により、6.1%、約1億5,900万円の増加、民生費は生活保護費の増、また民間保育園の整備補助金の計上により、5.5%、約3億7,400万円の増加、衛生費は放射能対策として除染経費の計上により、1.5%、約3,400万円の増加、土木費が市道23号線の事業費の減に伴い、0.5%、約1,300万円の減少、教育費はひたち野うしく小学校の校舎増築、また、中根小学校体育館、牛久第二小学校体育館の耐震補強、大規模改修により、12.6%、約3億8,400万円の増加となっています。

牛久市各会計予算 (単位：万円、%)

会計名	平成24年度		平成23年度		比較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増減額	増減率
一般会計	2,275,000	60.6	2,186,000	61.3	89,000	4.1
国民健康保険事業	772,000	20.5	737,000	20.7	35,000	4.7
公共下水道事業	222,300	5.9	220,800	6.2	1,500	0.7
青果市場事業	2,340	0.1	2,260	0.1	80	3.5
小規模水道事業	1,600	0.0	4,840	0.1	△3,240	△66.9
介護保険事業	380,000	10.1	317,400	8.9	62,600	19.7
工業用地造成事業	3,560	0.1	3,700	0.1	△140	△3.8
後期高齢者医療事業	100,900	2.7	93,800	2.6	7,100	7.6
特別会計合計	1,482,700	39.4	1,379,800	38.7	102,900	7.5
合計	3,757,700	100.0	3,565,800	100.0	191,900	5.4

- ◆国民健康保険事業特別会計は、一般被保険者への保険給付費の増加により対前年度4.7%増の77億2,000万円
- ◆公共下水道事業特別会計は、雨水建設事業費の増加により対前年度0.7%増の22億2,300万円
- ◆青果市場事業特別会計は、一般管理費の増加により対前年度3.5%増の2,340万円
- ◆小規模水道事業特別会計は、維持補修工事費の減額により対前年度66.9%減の1,600万円
- ◆介護保険事業特別会計は、保険給付費の増加により対前年度19.7%増の38億円
- ◆工業用地造成事業特別会計は、業務委託費の減額により対前年度3.8%減の3,560万円
- ◆後期高齢者医療事業特別会計は、保険給付費の増加により対前年度7.6%増の10億900万円

事業費が増加する扶助費、医療、介護、少子超高齢化に対応し、市民生活に直結した事業へ予算を重点配分



平成24年度の一般会計予算は、年少扶養親族に対する扶養控除の廃止などの税制改正に伴い、一時的に市税が増加し、これを受け、歳出ではひたち野うしく小学校の校舎増築や中根小学校校体育館、牛久第二小学校体育館の耐震・大規模改修などを予算に組み入れ、前年度比4.1%、8億9,000万円の増加となりました。

また、特別会計は、国民健康保険事業特別会計の一般・退職分の医療給付費、後期高齢者医療制度に対する支援金の増加、また介護保険事業特別会計における保険給付費のうち、特に介護サービス給付費の増加に伴い、対前年度比7.5%、約10億3,000万円の増加となりました。

市民要望に満遍なく応える事業運営からそれぞれの地域が持つ課題を克服し、市民の絆を深める地域経営へ

平成24年度の新規または特徴的な事業としては…

総務・衛生

- ・任意の予防接種費用の助成
- ・バイオマスタウン構想の推進
- ・放射能対策の実施
- ・生ごみ堆肥化事業の実施
- ・公用バスの購入
- ・自主防災組織の育成
- ・行政区集会所施設の整備や管理に対する助成

民 生

- ・民間保育園の建設と運営支援
- ・地区社会福祉協議会の設立推進
- ・成年後見サポートセンターの運営費助成
- ・障害者の自立に向けた相談体制の充実
- ・子育て広場の拡充
- ・医療福祉費支給制度の拡充
- ・高齢者に対する福祉施策の推進

農業・商工・消防

- ・農業や漁業団体などの活動支援
- ・耕作放棄地の拡大防止
- ・中小企業への資金融資の助成
- ・ハートフルクーポン券事業

土 木

- ・市道8号線の整備
- ・市道23号線(北側延伸分)の整備
- ・市道23号線(南側延伸分)の整備
- ・雨水対策としての遠山川の改修
- ・雨水対策としての田宮西近隣公園整備

教 育

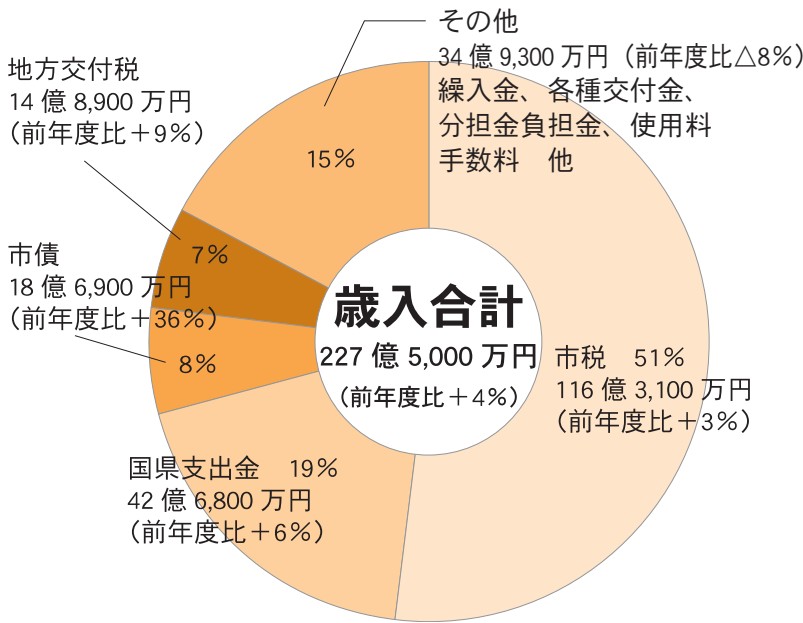
- ・ひたち野うしく小学校増築
- ・中根小学校校体育館耐震補強・大規模改修
- ・牛久第二小学校校体育館耐震補強・大規模改修
- ・エスカート生涯学習センター改修
- ・牛久運動公園野球場改修

特別会計

- (国民健康保険事業)
- ・特定健康診査・特定保健指導の実施
- (介護保険事業)
- ・認定者に対する介護サービスの実施
- (後期高齢者医療事業)
- ・高齢者に対する医療の提供

(4ページに続く)

問い合わせ 市行政経営課 ☎内線3301

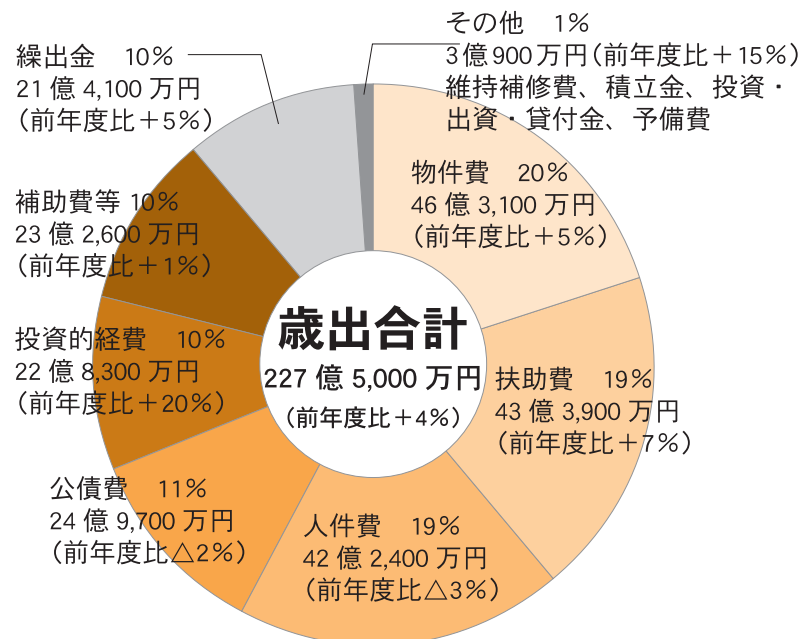
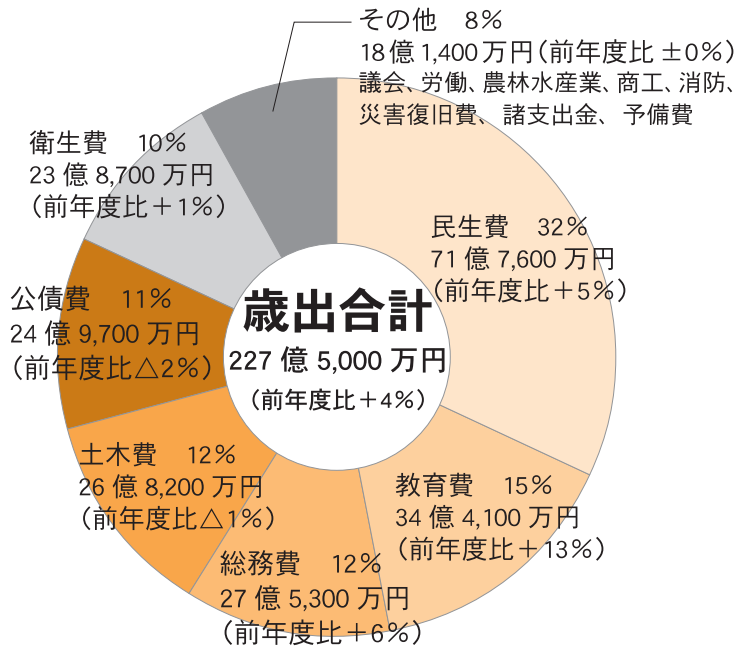


【一般会計歳入予算】

歳入では市税が、個人市民税の税制改正における扶養控除の見直しなどにより、対前年度比約3億8,000万円、3%の増加、国庫支出金が生活保護費負担金の増、小学校大規模改修補助金、保育園整備補助金などにより対前年度比約6%の増加、地方交付税は平成15年当時の交付額13億円を超える14億8,900万円、市債は、臨時財政対策債、ひたち野うしく小学校校舎増築事業債などにより約36%の増加となっています。

【一般会計目的別歳出予算】

目的別歳出予算の内訳を見ると、全体の約32%を占める民生費が、民間保育園建設支援やマル補助成費の増加などにより対前年度比約5%の増加、教育費では、ひたち野うしく小学校の増築や中根小学校、牛久第二小学校体育館の耐震補強・大規模改修などにより約13%の増加、また、総務費が基幹システムの入替えや行政区集会所新設補助金の増加などにより約6%の増加となっています。一方、土木費は市道23号線整備事業費の減少などにより約1%の減少となっています。



【一般会計性質別歳出予算】

財政構造を分析するために、一般会計の歳出をその経済的性質を基準として分類したものが左の性質別予算です。

構成割合は、物件費、扶助費、人件費、公債費の順となっています。今後は、義務的経費と呼ばれる扶助費、人件費、公債費の抑制が課題となります。

また、投資的経費については、ひたち野うしく小学校増築や小学校体育館の耐震・大規模改修が主な要因となり、対前年度比約20%の増加となりました。